

# ILA2010/Berlin Air Show

## ベルリン国際航空宇宙ショー

### Closing Report

会場: ベルリン・シェネフェルト空港

会期: 2010年6月8日～13日 [www.ila-berlin.com](http://www.ila-berlin.com)



#### 統計データ (2010年実績)

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| 総展示面積              | 165,000㎡    |
| 屋内総展示面積            | 55,000㎡     |
| 屋外総展示面積            | 110,000㎡    |
| 出展企業               | 1,153社/47カ国 |
| 内、外国出展企業           | 448社        |
| 展示飛行機数             | 約300機       |
| 総ビジター数             | 235,000人    |
| うち専門ビジター           | 125,000人    |
| 2010年出展料: ホール/一方開き | 317 EUR/1㎡  |
| 開催間隔               | 隔年          |

## ILA2010 の成功を受け、明るい見通しの航空業界

来場者23万5000人、期間中、約140億ユーロ(165億ドル)のビジネス成果

2010年6月にドイツ・ベルリンで開催されたILA 2010/国際航空宇宙ショー・会議は、これまで以上の成果を収め、ビジネス・プラットフォームとしての地位を確固たるものにしました。出展者数はILAの100年にわたる歴史の中で最多となり、47カ国から1,153社(2008年:37カ国から1,127社)を記録しました。出展者は航空宇宙産業のあらゆる分野の非常に幅広い製品とサービスを展示しました。また、およそ23万5,000人(2008年:24万1,000人)が来場し、トレードビジター数は、前回と比べわずかながら増加し、125,000人でした(2009年:120,000人)。見本市期間中に締結された契約および取引合意は、165億ドル(約140億ユーロ)に達しています。単独の受注として最も大きかったのは、エミレーツ航空の受注で、同社は合計約115億ドルにのぼる34機のエアバスA380の購入しています。エアバス社によれば、この契約は民間航空史上、単独の注文としては最大の金額となります。同社CEOのDr. Thomas EndersはILA2010の期間中、エアバス社だけで67機を売り上げたと言っています。

ドイツ航空宇宙工業会(BDLI)のDietmar Schrick会長は、「今回のILAで得られたビジネス成果から判断して、ILAは航空宇宙分野のトップクラスの国際イベントとしての地位をさらに強固なものとした。2010年我々は、単独の受注としては、世界で最高額を記録した。ILAのほぼすべてのセクションで大きな伸びを記録したことは、基本コンセプトの確かさを裏付けており、ILA2010は新たな基準を打ち立てたと言える」と述べています。

メッセ・ベルリン社のCEO、Raimond Hoschは「今年のILAの成功は我々にとって、2012年以降ILAの会場がベルリン・ブランデンブルク国際空港(BBI)の新会場に移ってからもILAを将来的に開催していく強力な推進力となるだろう。今回、ILAは今まで最大の商業的な重要性を示した。インターナショナル・サプライヤー・センター(ISC)、ILAヘリセンター、ILAキャリアセンター、ILAスペース・パビリオンでは質の面で向上が図られ、今回の開催の成功に大きく貢献している。もちろんILAはパブリックにとっても大きな魅力を持っている。ILAほど航空・宇宙の魅力を示してくれるイベントはほかにはない」とコメントしています。

ILA2010では、100を超える会議、セミナー、ワークショップを伴う会議が開催され、航空宇宙ビジネスの各分野の代表、約8000人が参加しました。

#### ISCおよび日本のプレゼンス

インターナショナル・サプライヤー・センター(ISC)



ISC

International Suppliers Center

は、二次以下のサプライヤー

のためのビジネスに特化したILAの中の見本市で、出展者数は60%増加しました(22カ国から265)。日本から東京都が初出展し、その出展効果に大変満足なフィードバックが寄せられています。新たに導入されたインターナショナル・パイアーズ・デーでは、事前アポイント制度を導入し、ISCの出展者が主なシステム・メーカーの50人以上のトップバイヤー達と合計435回の個別の話し合いを持ちました。

300機弱の航空機が会場に展示され、あるいは空を舞いましたが、この数は世界のどのエアショーに比べてもかなり高いものとなっています。今回、世界、欧州あるいはILAでデビューを飾った航空機には、新型のA400M軍用輸送機、最新の航空電子工学の成果を搭載したCH-53GA(German Advanced)輸送ヘリコプター、二酸化炭素の排出をなくした燃料セルシステムを使用する世界初の有人飛行機などがあります。

#### ILAの出展者は出展成果に満足

全体として出展者の3分の2が、ILA出展の商業的成功に満足し、同数が見本市後のフォローアップ・ビジネスが満足していくものになると期待しています。出展者の91%が、自社スタンドを訪れたトレードビジターの質の高さを称賛しています。ILA出展については出展者の92%が満足を示し、会社代表の89%が次回のILAにも参加したいと回答しました。景況判断についての質問に対しては、航空業界の現在の状況に関して88%が前向きであり、89%が今後の経済状況について明るい見通しを持っています。

次回のILA: 2012年9月11日～16日に新しく生まれ変わるベルリン・ブランデンブルク国際空港の西側の新会場で開催されます。

#### お問い合わせ先

メッセ・ベルリン日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町2-4 三番町KSビル  
在日ドイツ商工会議所内

Tel:03-5276-8730 Fax:03-5276-8735

[info@messe-berlin.jp](mailto:info@messe-berlin.jp)